

(様式9)

群大医総722号
平成20年10月3日

厚生労働大臣 殿

群馬大学医学部附属病院長
石川

群馬大学医学部附属病院の特定機能病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告します。

記

1. 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照（様式10）
2. 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照（様式11）
3. 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数 34.5人

4. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

→ 別紙参照（様式12）

5. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

6. 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績

→ 別紙参照（様式13）

7. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	222人	193人	375.7人	看護業務補助	1人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	6人	6人	11.0人	理学療法士	7人	臨床検査技師	54人
薬剤師	38人	15人	51.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	1人
保健師	0人	1人	0.7人	視能訓練士	2人	その他	0人
助産師	20人	0人	20.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	514人	52人	550.9人	臨床工学技士	8人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	2人	8人	6.6人	栄養士	1人	その他の技術員	5人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	2人	事務職員	123人
管理栄養士	4人	0人	4.0人	診療放射線技師	42人	その他の職員	8人

8. 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	618.9人	10.6人	629.5人
1日当たり平均外来患者数	1,785.9人	74.0人	1,859.9人
1日当たり平均調剤数	15,563.8剤	(993.9件)	

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
胎児心超音波検査	有・無	人
インプラント義歯	(有)・無	6人
顎顔面補綴	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
成長障害のDNA診断	有・無	人
門脈圧亢進症に対する經頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	(有)・無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断	(有)・無	7人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
重粒子線治療	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
31燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素凍結骨移植	有・無	人
臍腫瘍に対する腹腔鏡補助下臍切除術	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	(有)・無	5人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人
膀胱水圧拡張術	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	8人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	5人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	0人
カフェイン併用化学療法	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	0人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	2人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	72 人	・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	46 人
・多発性硬化症	84 人	・ウェグナー肉芽腫症	16 人
・重症筋無力症	117 人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	58 人
・全身性エリテマトーデス	301 人	・多系統萎縮症	13 人
・スモン	3 人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	6 人
・再生不良性貧血	44 人	・膿疱性乾癬	7 人
・サルコイドーシス	163 人	・広範脊柱管狭窄症	1 人
・筋萎縮性側索硬化症	58 人	・原発性胆汁性肝硬変	19 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	290 人	・重症急性膵炎	5 人
・特発性血小板減少性紫斑病	104 人	・特発性大腿骨頭壊死症	46 人
・結節性動脈周囲炎	30 人	・混合性結合組織病	25 人
・潰瘍性大腸炎	149 人	・原発性免疫不全症候群	4 人
・大動脈炎症候群	34 人	・特発性間質性肺炎	9 人
・ビュルガー病	46 人	・網膜色素変性症	24 人
・天疱瘡	47 人	・プリオン病	2 人
・脊髄小脳変性症	61 人	・原発性肺高血圧症	7 人
・クローン病	58 人	・神經線維腫症	11 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1 人	・亜急性硬化性全脳炎	1 人
・悪性関節リウマチ	11 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3 人
・パーキンソン病関連疾患	237 人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	4 人
・アミロイドーシス	10 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2 人
・後縦靭帯骨化症	42 人	・副腎白質ジストロフィー	0 人
・ハンチントン病	4 人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	(1) 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に6回程度	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 52 例	剖検率 18.5 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	森昌朋	第一内科	1,000,000	厚生労働省
ホルモン受容機構異常にに関する調査研究	森昌朋	第一内科	1,800,000	厚生労働省
L3分画および血流中癌細胞テロメラーゼを指標とした肝細胞癌のサーベイランスの有用性	高木均	第一内科	1,800,000	厚生労働省
JNKアイソフォームによる相反するIL-12産生制御:RNA干渉を用いた検討	宇津木 光克	第一内科	1,700,000	文部科学省
RNA干渉による変異型RASの発現抑制が肺癌の増殖やシグナル伝達系に与える影響	砂長 則明	第一内科	1,800,000	文部科学省
肝細胞増殖因子トランスジェニックマウスを用いた発癌機序のペプチドによる選択的ヒストン脱アセチル化酵素(HDAC)3阻害剤の作製	市川 武	第一内科	1,900,000	文部科学省
石塚 高広	第一内科	1,500,000	文部科学省	
摂食抑制ホルモンNesfatin-1の受容体活性化機構の解明と臨床展開	森 昌朋	第一内科	17,000,000	文部科学省
ベータセルリソ受容体のクローニングと新規糖尿病治療法の開発	岡田 秀一	第一内科	700,000	文部科学省
TRHノックアウトマウスより単離した新規摂食関連脳内ペプチドmDP1の解析	山田 正信	第一内科	900,000	文部科学省
新規摂食抑制蛋白、ネスファチナー1欠損マウスの樹立とその行動学的解析	清水 弘行	第一内科	3,100,000	文部科学省
非アルコール性脂肪性肝炎の病態における核内レセプターCARの役割	柿崎 晓	第一内科	1,500,000	文部科学省
PPARの転写共役因子PDIP1ノックアウトマウスにおける代謝異常の分子病態解析	佐藤 哲郎	第一内科	1,200,000	文部科学省
プロトン感知性受容体による慢性気道炎症の制御	石塚 全	第一内科	1,700,000	文部科学省
肺線維症に対する新たな治療戦略の確立—フォリスタチンによる筋線維芽細胞の制御	青木 史曉	第二内科	1,100,000	文部科学省
骨髄由来单核球細胞の血管平滑筋細胞への分化調節機構の解明と新規治療法開発への応用	土井 宏	第二内科	1,800,000	文部科学省
血管石灰化の転写制御機構の解明	倉林 正彦	第二内科	5,400,000	文部科学省
結合組織増殖因子による心臓線維化・拡張不全発症機序の解明と診断法・治療法の開発	新井 昌史	第二内科	3,300,000	文部科学省
Notchシグナルによる血管平滑筋細胞分化調節機構の解明	磯 達也	第二内科	1,700,000	文部科学省
遺伝子改変モデル動物を用いた肺気腫の病態形成と喫煙感受性の分子メカニズムの解明	須賀 達夫	第二内科	1,700,000	文部科学省
腎幹細胞特異的マーカーおよびその活性化因子の探索	前嶋 明人	第三内科	870,000	文部科学省
腎再生に関する幹細胞の同定とその制御に関する研究	野島 美久	第三内科	1,500,000	文部科学省
自己免疫疾患におけるCD47-SHPS-1シグナル系の機能解析	金子 和光	第三内科	1,300,000	文部科学省
ヒトを対象にした精神疾患の生物学的病態解明に関する研究	三國雅彦	精神科神経科	31,000,000	厚生労働省
司法精神医学の人材育成等に関する研究	三國雅彦	精神科神経科	1,500,000	厚生労働省
こころの健康増進のための脳機能自己モニタリング・システムの確立	福田 正人	精神科神経科	1,700,000	文部科学省
統合失調症・気分障害における社会的認知障害の脳基盤についてのNIRS・MEG研究	福田 正人	精神科神経科	2,400,000	文部科学省
制御性T細胞を用いた新しいアレルギー性鼻炎の治療に関する基礎的研究	豊田 実	精神科神経科	1,100,000	文部科学省
アレルギー疾患の自己管理と個別化医療を目指した早期診断基準と早期治療法の確立及びその有効性と有害事象の評価に関する研究	森川昭廣	小児科	3,500,000	厚生労働省
アトピー性皮膚炎の発症および悪化因子の同定と発症予防・症状悪化防止のための生活環境整備に関する研究	望月博之	小児科	2,000,000	厚生労働省
アレルギー性疾患の発症・進展・重症化の予防に関する研究	荒川浩一	小児科	4,000,000	厚生労働省
新生児期におけるグリア型グルタミ酸トランスポーターの生理的および病態的役割	塙田 昌大	小児科	900,000	文部科学省
エピジェネティクスによる微少変化型ネフローゼ症候群の病因解明へのアプローチ	森川 昭廣	小児科	2,800,000	文部科学省
川崎病治療戦略を意識した血清サイトカインと細胞外蛋白基質代謝の解析	井上 佳也	小児科	2,800,000	文部科学省
血球食食症候群における臓器障害メカニズムの細胞レベルでの解明	田村 一志	小児科	1,600,000	文部科学省
肝幹細胞のクローニングと肝内局在部位の同定に基づく肝組織再生機序の解明	小暮 公孝	第一外科	3,800,000	文部科学省
合成糖鎖による抗腫瘍効果の解析—新規抗がん剤の開発を目指して—	浅尾 高行	第一外科	2,300,000	文部科学省
肝・胆・膵癌におけるGalectin-3によるWnt系の制御	志村 龍男	第一外科	500,000	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元
癌性胸・腹膜炎に対する糖代謝酵素標的治療と新規ワクチン	堤 莊一	第一外科	500,000	文部科学省
生体肝移植過小グラフト克服に対する先進的探求:自己生体幹細胞由来細胞移植の応用	末廣 剛敏	第一外科	1,500,000	文部科学省
乳癌におけるオーファン受容体RORによるアロマターゼ遺伝子発現調節機構の解明	堀口 淳	第二外科	2,100,000	文部科学省
乳癌における核内受容体SXRの意義と新たな治療法の開発	六反田 奈和	第二外科	700,000	文部科学省
乳癌の薬剤耐性機序の解明—核内受容体SXRによるUGT発現の関与—	小田原 宏樹	第二外科	1,400,000	文部科学省
乳癌進展における環境化学物質の影響～新たな除去法、治療法の開発を目指して	鯉淵 幸生	第二外科	1,200,000	文部科学省
新規遺伝子変異検索技術SMAP法を用いた肺癌に対する網羅的診断・治療体系の確立	清水 公裕	第二外科	4,200,000	文部科学省
自己分泌型細胞運動刺激因子の骨分化における役割の検討	柳川 天志	整形外科	700,000	文部科学省
脂質メディエーターを介する皮膚線維化機構の解析とその臨床応用	石川 治	皮膚科	1,300,000	文部科学省
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	石川治	皮膚科	2,000,000	厚生労働省
レトロウイルス以外のRNAウイルスもヒト細胞内で逆転写される	清水 晶	皮膚科	1,700,000	文部科学省
皮膚潰瘍上皮化局面における各種サイトカインの臨床応用についての研究	曾我部 陽子	皮膚科	700,000	文部科学省
難治性皮膚創傷に対する増殖因子カクテル療法の臨床応用に関する基礎的研究	安部 正敏	皮膚科	900,000	文部科学省
スフィンゴ脂質による皮膚細胞外基質関連遺伝子の制御機構について	山中 正義	皮膚科	800,000	文部科学省
前立腺癌の遺伝子解析:1p36・8p23領域における責任遺伝子の同定	鈴木 和浩	泌尿器科	3,200,000	文部科学省
血清脂質と前立腺癌:レムナントリポプロテインの役割とエンドカンの意義	鈴木 和浩	泌尿器科	1,600,000	文部科学省
前立腺癌の発生・増殖・進展にかかわる食環境因子の予防医学的研究	伊藤 一人	泌尿器科	700,000	文部科学省
男性ホルモンが膀胱機能に及ぼす影響～血管を中心とした検討	曲 友弘	泌尿器科	2,400,000	文部科学省
血清前立腺癌特異マーカーproPSAの癌予測因子としての有用性と癌の特性との関係	山本 巧	泌尿器科	1,800,000	文部科学省
前立腺癌および腎癌に対するアボトーシス抑制因子、サバイビングの効果に関する研究	小池 秀和	泌尿器科	1,200,000	文部科学省
網膜細胞腫硝子体播種に対する抗癌剤灌流療法の検討	下田 幸紀	眼科	600,000	文部科学省
加齢黄斑変性症の病態における分子生物学的メカニズム	秋山 英雄	眼科	900,000	文部科学省
前庭機能異常に関する調査	古屋信彦	耳鼻咽喉科	1,100,000	厚生労働省
頭頸部癌患者における末梢血中微量癌細胞の同定法の開発と個別化がん治療への応用	古屋 信彦	耳鼻咽喉科	1,200,000	文部科学省
抗p53抗体と抗p53T細胞応答を利用した新しい頭頸部癌の診断・治療法の開発	近松 一朗	耳鼻咽喉科	600,000	文部科学省
インテグリン関連分子CD47の内耳免疫における生理的役割の解析	宮下 元明	耳鼻咽喉科	1,000,000	文部科学省
加速器テクノロジーによる医学・生物学研究	中野隆史	放射線科	149,000,000	文部科学省
低酸素による放射線抵抗性獲得に関わる分子を標的とした放射線増感の研究	石川 仁	放射線科	2,200,000	文部科学省
シスプラチニの細胞内画像化、定量化に関する基礎的解析	櫻井 英幸	放射線科	2,100,000	文部科学省
低酸素細胞の分子生物学的特徴と治療への応用の可能性	江原 威	放射線科	1,000,000	文部科学省
類骨骨腫に対する経皮的ラジオ波凝固療法に関する研究	遠藤啓吾	核医学科	10,000,000	厚生労働省
がん放射線診断における患者被爆の実態調査と放射線誘発がんのリスク推定に関する研究	遠藤啓吾	核医学科	6,500,000	厚生労働省
新しい放射性薬剤を用いたがん治療:ルテチウム-177(177Lu)標識抗体の開発	遠藤 啓吾	核医学科	1,500,000	文部科学省
標識抗体を利用したがん治療	遠藤 啓吾	核医学科	25,600,000	文部科学省
F-18標識アミノ酸を用いるPET-CTによるがんの治療効果判定法に関する研究	織内 昇	核医学科	1,000,000	文部科学省
アミノ酸輸送担体を標的とした肺癌のPET診断および個別の内照射併用治療の研究	樋口 徹也	核医学科	800,000	文部科学省
ゴナドトロビン作用と卵成熟のメカニズム解明	峯岸 敬	産科婦人科	7,600,000	文部科学省
ゴナドトロビンレセプターの新たな発現調節メカニズムの発見	中村 和人	産科婦人科	1,300,000	文部科学省
卵巣顆粒膜細胞におけるダイオキシン類のシグナル伝達系路の解明	平川 隆史	産科婦人科	1,600,000	文部科学省
神経終末構成蛋白シタキシン3ノックアウトマウスを用いた神経障害性疼痛の解明	入内島 伸尚	麻酔科蘇生科	1,360,000	文部科学省
「痛み」は人の脳でどう伝わるか?一脳磁図で迫る痛覚メカニズム	荻野 祐一	麻酔科蘇生科	1,300,000	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元
分解吸収性素材を応用した徐放化栄養因子・麻酔薬による慢性痛治療法の開発	戸部 賢	麻酔科蘇生科	900,000	文部科学省
炎症性疼痛および神経因性疼痛における末梢でのセロトニンの役割	中島 邦枝	麻酔科蘇生科	1,000,000	文部科学省
痛覚情報伝達における抑制シナプスと脱抑制の関与:遺伝子改変マウスを用いた総合解析	麻生 知寿	麻酔科蘇生科	1,300,000	文部科学省
神経因性疼痛関連シグナル蛋白の分子イメージング法の開発	山田 真紀子	麻酔科蘇生科	1,000,000	文部科学省
徐放化栄養因子および細胞移植を用いた神経傷害後の再生促進法と慢性痛治療法の開発	齋藤 繁	麻酔科蘇生科	700,000	文部科学省
脊髄グリア細胞の活性化と慢性痛—マイクログリアの抑制は痛覚過敏を抑制するか?—	小幡 英章	麻酔科蘇生科	1,000,000	文部科学省
麻酔薬の中中枢神経作用におけるGABA受容体と抑制ニューロンネットワークの役割	西川 光一	麻酔科蘇生科	1,500,000	文部科学省
Intermedin/Adrenomedullinの循環作用と麻酔薬	黒田 昌孝	麻酔科蘇生科	1,200,000	文部科学省
疼痛治療における新しいCT透視ガイド下神経ブロック法の開発と薬物療法の役割	肥塚 史郎	麻酔科蘇生科	1,000,000	文部科学省
機能再建外科治療を意図した随意運動神経回路網の回復機序についての研究	平戸 政史	脳神経外科	1,700,000	文部科学省
脳血管攣縮に対するプロスタサイクリン合成酵素遺伝子の導入	吉田 貴明	脳神経外科	700,000	文部科学省
神経再生医療実現のためのミニブタ穿通枝脳梗塞モデルを用いた基盤的研究	今井 英明	脳神経外科	7,800,000	文部科学省
アンジオテンシン2の脳梗塞に及ぼす影響の探求—虚血下活性酸素種に着目して—	風間 健	脳神経外科	800,000	文部科学省
急性脳炎のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明から新たな治療法確立に向けた研究	岡本 幸市	神経内科	600,000	厚生労働省
スモンに関する調査研究	岡本 幸市	神経内科	700,000	厚生労働省
特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究	岡本 幸市	神経内科	700,000	厚生労働省
神経変性疾患に関する調査研究	岡本幸市	神経内科	1,000,000	厚生労働省
パーキンソン病と筋萎縮性側索硬化症の病態解明に関する神経病理学的研究	岡本 幸市	神経内科	1,300,000	文部科学省
α 、 β シネミンの遺伝子発現解析と α シネミンに結合するタンパク質の同定	水野 裕司	神経内科	1,300,000	文部科学省
神経原線維変化形成におけるシナプス障害とGSK-3 β に関する検討	池田 将樹	神経内科	1,800,000	文部科学省
高密度リポ蛋白質HDLの抗動脈硬化作用とスフィンゴシン1-リン酸	木村 孝穂	検査部	1,300,000	文部科学省
小型ポンプによる冠灌流と単純浸漬を組み合せた搬送型臓器保存装置による長時間心保存	大嶋 清宏	集中治療部	900,000	文部科学省
敗血症由来の中枢神経障害におけるHMBG-1の関与	門井 雄司	集中治療部	900,000	文部科学省
鎮静薬投与患者末梢血单核球のNF-KB転写活性、サイトカイン産生能の検討	國元 文生	集中治療部	700,000	文部科学省
Septic shockにおけるVasopressinの役割についての解明	日野原 宏	集中治療部	1,200,000	文部科学省
アセチルコリニンを用いた虚血性心疾患に対する新しい血管新生療法の確立	林 淑朗	集中治療部	700,000	文部科学省
脳腫瘍の形態・遺伝子分類の確立—腫瘍の生物活性をよく反映する病理診断をめざして	中里 洋一	病理部	6,900,000	文部科学省
グリオーマの共通母細胞の同定とそれを分化誘導する因子の多量の粘液様基質の沈着を示す新たな小児グリオーマ腫瘍型の確立	中里 洋一	病理部	1,300,000	文部科学省
排卵期ヒト卵巣顆粒膜細胞の変化とその機能	岸 裕司	周産母子センター	800,000	文部科学省
テレケア診療ガイドラインの調査	酒巻哲夫	医療情報部	2,471,780	厚生労働省
院内がん登録の標準化と普及に関する研究	岡村 信一	医療情報部	500,000	厚生労働省
血管壁石灰化の分子機序_血管平滑筋細胞は骨芽細胞に分化するか?	佐藤 浩子	総合診療部	800,000	文部科学省
24時間咽頭食道内pH・インピーダンスマニタリングによる食道咽頭逆流の解析	河村 修	光学医療診療部	1,400,000	文部科学省
神経変性疾患へのコエンザイムQ10の効果～三次元動作解析を含めた多面的効果判定～	宗宮 真	リハビリテーション部	500,000	文部科学省
神経難病に対するリハビリテーション効果の研究	和田 直樹	リハビリテーション部	400,000	文部科学省
冠動脈疾患の新しいバイオマーカーとしてのリポ蛋白中リゾリン脂質バランス変化	桑原 敦志	感染制御部	1,100,000	文部科学省
分子生物学的予後因子による子宮頸癌の至適治療法の開発	鹿沼 達哉	腫瘍センター	2,700,000	文部科学省
血栓塞栓症の発症に関わる遺伝的因子の解明と発症リスクの	中村 克徳	薬剤部	2,400,000	文部科学省

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biochem Biophys Res Commun 356:102-106,2007	Synip phosphorylation is required for insulin-stimulated glut 4 translocation.	Okada S, Ohsima K, Yamada M and Mori M.	第一内科
Obest Res Clin Practice 1:119-123,2007	Incidence of β_3 -adrenergic receptor polymorphism and prediction of successful weight reduction with magindol therapy in severely obese Japanese subjects.	Shimizu H, Tsuchiya T, Okada S and Mori M.	第一内科
18F-fluorodeoxyglucose in sarcoidosis patients. Chest 131:1019-1027,2007	18- α methyltyrosine position emission tomography in combination with	Kaire K, Oriuchi N, Endo K and Mori M.	第一内科
Endocr J 54:371-378,2007	Samatostatin receptor subtypes mRNA in TSH-secreting pituitary adenomas: a case showing a dramatic reduction in tumor size during short octreotide treatment.	Horiguchi K, Yamada M, Yamada S and Mori M.	第一内科
Endocrinology 148:4667-4675, 2007	Liver X receptor- α gene expression is positively regulated by thyroid hormone.	Hashimoto K, Mathsmoto S, Satoh T and Mori M.	第一内科
Obesity 15:1647-1656,2007	Chop-deficient mice showed increased adiposity but not glucose intolerance.	Ariyama Y, Shimizu H, Oyadomari S, and Mori M.	第一内科
Eur J Gastroenterol Hepatol 19:827-834 2007	Primary liver cancers with nonalcoholic steatohepatitis.	Hashizume H, Sato K, Ohwada S and Mori M.	第一内科
Hypertension.	Increased connective tissue growth factor relative to brain natriuretic peptide as a determinant of myocardial fibrosis.	小板橋紀通	第二内科
Int J Cardiol	Nestin, a maker for multilineage potential of cells from human primary and restenotic coronary artery plaques.	直田匡彦	第二内科
Ann Hematol. 86 (1):71-3, 2007	Small-bowel perforation accompanied by Aspergillus endocarditis in a patient with angioimmunoblastic T-cell lymphoma.	Saitoh T, Matsushima T, Nojima Y, Murakami H.	第三内科
J Am Soc Nephrol, 18: 515-527, 2007	Angiotensin II type 1 receptor blockade inhibits the development and progression of mouse model of HIV-associated nephropathy.	Hiramatsu N, Hiromura K, Kopp JB, Nojima Y.	第三内科

小計 11 件

Clin Lab Haematol. 29(1) :52-7, 2007	Expression of CD55 and CD59 on peripheral blood cells in patients with lymphoproliferative disease of granular lymphocytes.	Isoda A, Tsukamoto N, Nojima Y, Karasawa M.	第三内科
Lupus 16:133-136, 2007	Autoimmune pancreatitis as the initial presentation of systemic lupus erythematosus.	Kobayashi S, Yoshida M, Tsuchida A, Nojima Y	第三内科
Kid Intern. 72(3) :307-18, 2007	Increased Expression of Nestin in the Kidney Injured by Unilateral Ureteral Obstruction.	Sakairi T, Hiromura K, Takeuchi T, Nojima Y	第三内科
J Immunol. 178 (10):6164-72. 2007	Regulation by Src Homology 2 Domain-Containing Protein Tyrosine Phosphatase Substrate-1 of $\{\alpha\}$ -Galactosylceramide-Induced Antimetastatic Activity and Th1 and Th2 Responses of NKT Cells.	Okajo J, Kaneko Y, Matozaki T, Nojima Y.	第三内科
Ann Hematol. 2007	Successful treatment with voriconazole of Aspergillus meningitis in a patient with acute myeloid leukemia.	Saitoh T, Matsushima T, Nojima Y, Murakami H.	第三内科
J Immunol. 179 (2):869-77, 2007.	Resistance to experimental autoimmune encephalomyelitis and impaired T cell priming by dendritic cells in SRC homology 2 domain-containing protein tyrosine phosphatase substrate-1 mutant mice.	Tomizawa T, Kaneko Y, Nojima Y, Matozaki T.	第三内科
Am J Physiol Renal Physiol. 293 (4):F1214-21, 2007	Angiotensin II provokes podocyte injury in murine model of HIV-associated nephropathy.	Ideura H, Hiromura K, Kopp JB, Nojima Y.	第三内科
Endocr J. 55:1-9, 2007	Autocrine Regulator of Kidney Development and Repair.	Maeshima A, Miya M, Nojima Y, Activin A:	第三内科
Br J Haematol. 2007 Oct;139(1) :64-9.	JAK2-V617F mutation analysis of granulocytes and platelets from patients with chronic myeloproliferative disorders: advantage of studying platelets.	Toyama K, Karasawa M, Nojima Y, Tsukamoto N.	第三内科
Int J Hematol. 2007 Aug;86(2) :137-42.	Prevalence and clinical characteristics of acute myeloid leukemia associated with disseminated intravascular coagulation.	Uchiumi H, Matsushima T, Murakami H, Nojima Y.	第三内科
Psychiatry Res: Neuroimaging :	HPA axis dysfunction in unmedicated major depressive disorder and its normalization by pharmacotherapy correlates alteration of neural activities in prefrontal cortex and limbic/paralimbic regions.	Aihara M, Mikuni M	精神科神経科

J Psychiatr Res	Relationship between age at onset and magnetic resonance image-defined hyperintensities in mood disorders.	Takahashi K, Mikuni M	精神科神経科
Pharmacol Biochem Behav	Effects of SKF-38393, a dopamine D1 receptor agonist on expression of amphetamine-induced behavioral sensitization and expression of immediate early gene arc in prefrontal cortex of rats.	Moro H, Mikuni M	精神科神経科
J Psychiatr Res	Brain metabolic changes associated with predisposition to onset of major depressive disorder and adjustment disorder in cancer patients-A preliminary PET study	Kumano S,Mikuni M	精神科神経科
Eating Weight Disord	Cerebral blood volume changes in patients with eating disorders during word fluency: a preliminary study using multi-channel near infrared spectroscopy.	Uehara T, Mikuni M	精神科神経科
Neurosci Lett	Deactivation and activation of left frontal lobe during and after low-frequency repetitive transcranial magnetic stimulation over right prefrontal cortex: a near-infrared spectroscopy study	Hanaoka N, Mikuni M	精神科神経科
J Psychiatr Res.	The differential impact of executive attention dysfunction on episodic memory in obsessive-compulsive disorder patients with checking symptoms vs. those with washing symptoms	Omori IM, Mikuni M	精神科神経科
Neurosci Res	Time courses of brain activation and their implications for function: a multichannel near-infrared spectroscopy study during finger tapping	Sato T, Mikuni M	精神科神経科
日本未熟児新生児学会雑誌 19 (2) : 220-224 (2007)	気管支肺胞洗浄液の解析を行った先天性肺リンパ管拡張症の一例	黛 博雄、 高橋恭子、 大木康史、 森川昭廣	小児科
日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌 21 (1) : 12-15 (2007)	ミルクの粘稠度が胃排出に与える影響 一超音波法による検討一	宮沢麗子、 友政 剛、 森川昭廣	小児科
Clin Exp Immunol. 148:112-118,2007	Increased CD11b expression on polymorphonuclear leucocytes and cytokine profiles in patients with Kawasaki disease.	Kobayashi T, Kimura H, Inoue Y, Morikawa A.	小児科
Pediatrics. 119 (3) :716-23. 2007	Early-life risk factors for occurrence of atopic dermatitis during the first year.	Sugiyama M, Arakawa H, Tokuyama K, Morikawa A.	小児科
Int Arch Allergy Immunol.143 (4) :	Age-Related Difference in the Persistency of Allergic Airway Inflammation and Bronchial Hyperresponsiveness in a Murine Model of Asthma.	Mayuzumi H, Ohki Y, Mochizuki H, Morikawa A.	小児科

小計 12 件

J Pediatr. 150(4):e37. 2007	External validation of a scoring system to predict resistance to intravenous immunoglobulin.	Kobayashi T, Inoue Y, Morikawa A, Kobayashi T.	小児科
Acta Paediatr. 96(6):910-4. 2007	Effect of formula thickened with reduced concentration of locust bean gum on gastroesophageal reflux.	Miyazawa R, Tomomasa T, Arakawa H, Morikawa A.	小児科
Biomedical Research on Trace Elements. 18(1):91-95. 2007	Direct Analysis of Ceruloplasmin in Human Blood Serum by HPLC/Inductively Coupled Plasma-Mass Spectrometry for the Diagnosis of Wilson Disease.	Kobayashi K, Katsuya Y, Murakami M, Koyama H.	小児科
Neonatology. 91:275-280. 2007	Maturational Changes in Skin Color of Japanese Newborn Infants.	Watanabe M, Ohki Y, Tokuyama K, Morikawa A.	小児科
N Engl J Med. 356(26):2746-7; author reply 2748. 2007	Treatment of Kawasaki disease.	Inoue Y, Kobayashi T, Morikawa A.	小児科
International Journal of Immunopathology and Pharmacology. 20(2) (S2):9-14. 2007	Acute impact of volcanic ash in asthma symptoms and treatment.	Shimizu Y, Dobashi K, Morikawa A, Mori M.	小児科
J Infect Chemother. 13(4):235-54. 2007	Study of nasopharyngeal bacterial flora. Variations in nasopharyngeal bacterial flora in schoolchildren and adults when administered antimicrobial agents.	Konno M, Baba S, Morikawa A, Ubukata K.	小児科
Allergol Int. 2007 Dec;56(4):349-61. 2007	Guidelines for diagnosis and management of pediatric food allergy in Japan.	Mukoyama T, Nishima S, Morikawa A	小児科
Pediatr Int. 49(6):1023-1031. 2007	THE JAPANESE SOCIETY OF PEDIATRIC ALLERGY AND CLINICAL IMMUNOLOGY. New Japanese pediatric guidelines for the treatment and management of bronchial asthma.	Morikawa A, Nishima S.	小児科
European Journal of Gastroenterology & Hepatology. 19(11):942-946. 2007	Gradual improvement of liver function after administration of ursodeoxycholic acid in an infant with a novel ABCB11 gene mutation with phenotypic continuum between BRIC2 and PFIC2.	Takahashi A, Hasegawa M, Morikawa A, Kuwano H.	小児科
日本外科感染症学会雑誌. 4(1): 121 – 127, 2007	耐性腸球菌のP F G E電気泳動パターンからみた病院感染の検討 特に I C Uにおける病院感染について.	工藤通明, 浅尾高行, 竹内邦夫, 桑野博行	第一外科

小計 11 件

埼玉県医学会雑誌 42(2) : 345 – 350, 2007	腹腔内出血を契機に診断された胃原発 GIST 再発の 1 例.	緒方杏一, 宮崎達也, 櫻井信司, 加部吉男	第一外科
日本癌病態治療研究会誌 13(1) : 46 – 47, 2007	Gastrointestinal stromal tumor (GIST) の真の発生頻度とその顕性化および悪性化に関する遺伝子異常の検索.	斎藤加奈, 櫻井信司, 桑野博行, 中島 孝	第一外科
Surg Today. 37 (4):325-9, 2007	Peritoneal recurrence of gastric cancer with mucin phenotype 12 years after curative resection : report of a case.	Aihara R, Mochiki E, Ohono T, Kuwano H,	第一外科
Liver Int. 27(5) :716-21, 2007	Hepatocellular carcinoma producing a granulocyte colony-stimulating factor : report of a resected case with a literature review.	Araki K, Shimura T, Suehiro T, Kuwano H:	第一外科
Surg Endosc. 21 (9):1553-6, 2007	Experimental results and early clinical experience with an easy method for intracorporeal knot tying using a novel laparoscopic needleholder.	Asao T, Yamaguchi S, Mochiki E, Kuwano H:	第一外科
Cancer Sci. 98(9) :1358-67, 2007	Chemically synthesized sugar-cholestanols possess a preferential anticancer activity involving promising therapeutic potential against human esophageal cancer.	Faried A, Kato H, Asao T, Kuwano H,	第一外科
Ann Surg Oncol. 14(12):3593-601, 2007	Clinical and Prognostic Significance of RhoA and RhoC Gene Expression in Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Faried A, Kato H, Kuwano H:	第一外科
Atlas of Genetics and Cytogenetics in Oncology and Haematology. 11(3) : 365-371, 2007	HSPD1 (heat shock 60kDa protein1).	Faried A, Faried LS:	第一外科
Atlas of Genetics and Cytogenetics in Oncology and Haematology. 11(4) : 552-556, 2007	EBAG9 (Estrogen receptor-binding fragment-associated antigen 9).	Faried A, Faried LS:	第一外科
Ann Surg Oncol. 14(2):960-7, 2007	Expression of carbohydrate antigens in human esophageal squamous cell carcinoma : prognostic application and its diagnostic implications.	Faried A, Kimura H, Kato H, Kuwano H:	第一外科
Int J Oncol. 30 (3):605-13, 2007	Anticancer effects of gallic acid isolated from Indonesian herbal medicine, Phaleria macrocarpa (Scheff.) Boerl, on human cancer cell lines.	Faried A, Miyazaki T, Kato H, Kuwano H:	第一外科

小計 11 件

Case Rep Gastroenterol 1:116-122, 2007	A delayed recrudescent case of sigmoidocutaneous fistula due to diverticulitis.	Fujii T, Nakabayashi T, Hashimoto S, Kuwano H:	第一外科
Pathol Res Pract. 203 (9):671-5, 2007	An autopsy case report of annuloaortic ectasia with cardiac tamponade ruptured from an aneurysm of the right Valsalva sinus.	Fujii T, Kuwano H,	第一外科
Am J Physiol Liver Physiol. 292: G1385-G1395, 2007	Reduced inflammatory response and increased microcirculatory disturbances during hepatic ischemia-reperfusion injury in steatotic livers of ob/ob mice.	Hasegawa T,	第一外科
Eur J Gastroenterol Hepatol. 19 (10) :827-34, 2007	Primary liver cancers with nonalcoholic steatohepatitis.	Mochida Y, Shimura T,	第一外科
Hepatogastroenterology. 54 (78): 1672-5, 2007	Receptor protein tyrosine kinase Ron is highly expressed in colorectal mucosa of ulcerative colitis patients.	Hirayama I, Ide M, Asao T, Kuwano H:	第一外科
Oncol Rep. 18 (6) :1451-6, 2007	Over-expression of 14-3-3sigma in budding colorectal cancer cells modulates cell migration in the presence of tenascin-C.	Ide M, Saito K, Asao T, Kuwano H,	第一外科
Surg Today. 37 (6):510-3, 2007	Laparoscopic appendectomy for appendiceal endometriosis presenting as acute appendicitis : report of a case.	Idetsu A, Ojima H, Nishida Y, Kuwano H:	第一外科
Int J Cancer. 121 (1):33-8, 2007	Identification of overexpressed genes in hepatocellular carcinoma, with special reference to ubiquitin-conjugating enzyme E2C gene expression.	Ieta K, Kuwano H,	第一外科
Neurogastroenterol Motil. 19 (3): 233-40, 2007	The peptide hormone xenin induces gallbladder contractions in conscious dogs.	Kamiyama Y, Aihara R, Asao T, Kuwano H:	第一外科
Microsurgery 27 (4): 234-239, 2007	Th1/Th2 xenogenic antibody responses are associated with recipient dendritic cells.	Kanai N,	第一外科
Hepatogastroenterology. 54 (77) :1388-90, 2007	Endoscopic clips prevent self-expandable metallic stent migration.	Kato H, Fukuchi M, Tsukada K, Kuwano H:	第一外科
Dig Surg. 24 (2) :88-95, 2007	Surgical treatment for esophageal cancer. Current issues.	Kato H, Fukuchi M, Tsukada K, Kuwano H:	第一外科

Anticancer Res. 27(4C):2627-33, 2007	Prediction of response to definitive chemoradiotherapy in esophageal cancer using positron emission tomography.	Kato H, Fukuchi M, Tsukada K, Kuwano H:	第一外科
Anticancer Res. 27(6C):4249-54, 2007	Videofluoroscopic evaluation in oropharyngeal swallowing after radical esophagectomy with lymphadenectomy for esophageal cancer.	Kato H, Miyazaki T, Tsukada K, Kuwano H:	第一外科
Int J Oncol. 30(1):171-9, 2007	Prognostic significance of EpCAM expression in human esophageal cancer.	Kimura H, Kato H, Fukuchi M, Kuwano H:	第一外科
Breast Cancer Res Treat. 106:407-411, 2007	Study of time-course changes in annual recurrence rates for breast cancer: data analysis of 2,209 patients for 10 years post-surgery.	Kimura M, Yanagita Y, Fujisawa T, Koida T:	第一外科
Surg Today. 37(12):1102-4, 2007	Segmental dilatation of the ileum covered almost entirely by gastric mucosa : report of a case.	Kobayashi T, Uchida N, Takahasi A, Kuwano H:	第一外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg. 14(3):297-301, 2007	Close relation between the inferior vena cava ligament and the caudate lobe in the human liver.	Kogure K, Ishizaki M, Nemoto M, Kuwano H,	第一外科
J Pediatr Surg. 42: E15-18, 2007	Successful laparoscopic ligation of the lymphatic trunk for refractory chylous ascites.	Kuroiwa M, Toki F, Suzuki M, Suzuki N:	第一外科
Surg Today. 37(12): 1023-32, 2007	Gastrointestinal motility after digestive surgery.	Mochiki E, Asao T, Kuwano H:	第一外科
Int J Hyperthermia. 23(6):493-500, 2007	Feasibility study of postoperative intraperitoneal hyperthermochemotherapy by radiofrequency capacitive heating system for advanced gastric cancer with peritoneal seeding.	Mochiki E, Andoh H, Asao T, Kuwano H:	第一外科
Hepatogastroenterology. 54(73):104-10, 2007	Comprehensive investigations of quality of life after esophagectomy with special reference to the route of reconstruction.	Nakajima M, Kato H, Mochiki E, Kuwano H:	第一外科
Curr Pain Headache Rep. 11(2):115-23, 2007	Is there genetic polymorphism evidence for individual human sensitivity to opiates?	Nagashima M, Katoh R,	第一外科
J Immunol. 178(2):757-64, 2007	Enforced expression of Bcl-2 partially restores cell numbers but not functions of TCRgammadelta intestinal intraepithelial T lymphocytes in IL-15-deficient mice.	Nakazato K, Yajima T, Kuwano H,	第一外科

MHC 13 (3) :187-197, 2007	Somatic mutations leading to incomplete extinction of HLA class I were associated with replication error phenotype-positive colorectal carcinoma.	Nouchi T, Tanaka S, Kuwano H,	第一外科
Hepatogastroenterology. 54(73) :111-5, 2007	Relationship between cytokine response and temporary ventilation during one-lung ventilation in esophagectomy.	Ojima H, Kuwano H, Sohda M, Tsukada K:	第一外科
World J Surg Oncol. 5 (1): 70, 2007	Treatment of multiple liver metastasis from gastric carcinoma.	Ojima H, Ootake S, Nishida Y, Kuwano H:	第一外科
Hepatogastroenterology. 54(73) :28-31, 2007	Management of bile leakage caused by clip displacement from cystic duct stumps.	Ojima H, Yamauchi H, Nishida Y, Kuwano H:	第一外科
Hepatogastroenterology. 54(73) :17-21, 2007	Fascin expression is correlated with tumor progression of extrahepatic bile duct cancer.	Okada K, Shimura T, Suehiro T, Kuwano H:	第一外科
Cancer Sci. 98 (11):1747-51, 2007	LKB1 gene mutations in Japanese lung cancer patients.	Onozato R, Kosaka T, Kuwano H, :	第一外科
Hepatogastroenterology. 54(73) :206-9, 2007	Efficacy of transplanting cryo-preserved and encapsulated xenogeneic fetal liver fragment as an auxiliary liver support in 90%-hepatectomized rats.	Shimura T, Kuwano H, Takebe K, Asao T:	第一外科
Am J Surg. 194 (4):553-5, 2007	Preoperative endoscopic pancreatic stenting for prophylaxis of pancreatic duct disruption during extirpation of a pancreatic head tumor.	Shimura T, Suehiro T, Araki K, Kuwano H:	第一外科
J Surg Oncol. 96 (5):438-41, 2007	Trans-ileocecal portal vein embolization as a preoperative treatment for right trisegmentectomy with caudate lobectomy.	Shimura T, Suehiro T, Araki K, Kuwano H:	第一外科
Pathology-Research and Practice 203:671-675, 2007	An autopsy case report of annuloaortic ectasia with cardiac tamponade ruptured from an aneurysm of the right Valsalva sinus.	Takaaki F, Sumiyoshi S, Kuwano H, Sueishi K:	第一外科
Hepatogastroenterology 54(74) :367-72, 2007	Is p53 and heat shock protein 70 expression a useful parameter for preoperative hyperthermoradiation therapy in advanced rectal carcinoma.	Takeuchi K, Nakajima M, Fujita K, Kuwano H:	第一外科
Int Surg. 92 (4) :214-7, 2007	Case of breast cancer with endocrine differentiation.	Tanaka N, Katayama K, Uchida N, Kuwano H:	第一外科

Oncol Rep. 18(1) :87-92, 2007	CDX2 as a useful marker of colorectal adenocarcinoma metastases to lung in pre-operative biopsy specimens.	Tanaka S, Saito K, Shitara Y, Kuwano H:	第一外科
Ann Surg Oncol. 14(6):1880-9, 2007	Alpha1,2fucosylation is a superior predictor of postoperative prognosis for colorectal cancer compared with blood group A, B, or sialyl Lewis X antigen generated within colorectal tumor tissues.	Tsuboi K, Asao T, Hashimoto S, Kuwano H,	第一外科
Anticancer Res. 27(4B):2289-96, 2007	Galectin-3 expression in colorectal cancer: relation to invasion and metastasis.	Tsuboi K, Shimura T, Asao T, Kuwano H:	第一外科
Hepatogastroenterology. 54(79) :1983-4, 2007	Colonoscopy using an abdominal bandage.	Tsutsumi S, Fukushima H, Kuwano H:	第一外科
Hepatogastroenterology. 54(79) :1959-61, 2007	Feasibility of colonoscopy in patients 80 years of age and older.	Tsutsumi S, Fukushima H, Osaki K, Kuwano H:	第一外科
Pediatr Surg Int. 23(2):199-201, 2007	Visceral coverage with absorbable mesh followed by split-thickness skin graft in the treatment of ruptured giant omphalocele.	Yamagishi J, Ikeda H:	第一外科
Hepatogastroenterology. 54(75):803-5, 2007	Effect of basic fibroblast growth factor, trafermin, on entero-related fistulae, report of two cases.	Yamaguchi S, Asao T, Tsutsumi S, Kuwano H:	第一外科
Genes Cells. 12 (4):461-71, 2007	Oxidative stress induces p53-dependent apoptosis in hepatoblastoma cell through its nuclear translocation.	Yamamoto H, Kuwano H,	第一外科
Hepatogastroenterology. 55(82-83) :653-6, 2008	Is an elderly recipient a risk for living donor adult liver transplantation?	Suehiro T, Shimada M, Kuwano H:	第一外科
Surg Today. 38 (7):651-5, 2008	Esophageal granular cell tumor covered by intramucosal squamous cell carcinoma: Report of a case.	Saito K, Kato H, Kuwano H:	第一外科
Ann Surg Oncol. 15(2):638-48, 2008	Biological and genetic characteristics of tumor-initiating cells in colon cancer.	Ieta K, Tanaka F, Kuwano H, Mori M:	第一外科
Surg Today. 38 (1):68-71, 2008	Lymphoepithelial cyst of the pancreas: report of a case.	Idetsu A, Ojima H, Kuwano H:	第一外科
Ann Surg. 247(2) :288-93, 2008	The caudate processus hepatic vein: a boundary hepatic vein between the caudate lobe and the right liver.	Kogure K, Kuwano H, Makuuchi M:	第一外科

Cancer Sci. 99(3) :564-70, 2008	Whole-genome profiling of chromosomal aberrations in hepatoblastoma using high-density single-nucleotide polymorphism genotyping microarrays.	Suzuki M, Kato M, Kuwano H,	第一外科
Cancer Sci. 99(2) :253-9, 2008	Aberrant methylation status of known methylation-sensitive CpG islands in gastrointestinal stromal tumors without any correlation to the state of c-kit and PDGFRA gene mutations and their malignancy.	Saito K, Sakurai S, Kuwano H	第一外科
Anticancer Res. 28(1A):165-9, 2008	Preoperative serum vascular endothelial growth factor-C (VEGF-C) levels predict recurrence in patients with esophageal cancer.	Kimura H, Kato H, Kuwano H.	第一外科
Int Heart J.	Factors for successful weaning from a percutaneous cardiopulmonary support system (PCPS) in patients with low cardiac output syndrome after cardiovascular surgery.	Oshima K, Kunimoto F, Takeyoshi I, Hinohara H,	第二外科
World J Gastroenterol.	Effect of atrial natriuretic peptide on ischemia-reperfusion injury in a porcine total hepatic vascular exclusion model.	Kobayashi K, Oshima K, Matsumoto K, Takeyoshi I.	第二外科
J Surg Res.	Endotoxin removal with a polymyxin B-immobilized hemoperfusion cartridge improves cardiopulmonary function after cardiopulmonary bypass.	Ohki S, Oshima K, Matsumoto K, Morishita Y.	第二外科
J Invest Surg.	Effects of the COX-2 inhibitor FK3311 on ischemia - reperfusion injury in the rat lung.	Otani Y, Takeyoshi I, Matsumoto K, Morishita Y.	第二外科
J Thorac Oncol.	Spontaneous mediastinal hematoma presenting as a mass.	Kamiyoshihara M, Ibe T, Takise A, Takeyoshi I.	第二外科
Hepatogastroenterology.	The effects of a cyclooxygenase-2 inhibitor, FK3311, on total hepatic ischemia-reperfusion injury of the rat.	Kobayashi M, Takeyoshi I, Matsumoto K, Morishita Y.	第二外科
J Invest Surg.	The comparison of mitogen-activated protein kinases that become activated within the left ventricular and right atrial tissues following heart transplantation in canine model.	Koike N, Takeyoshi I, Tokumine M, Morishita Y.	第二外科
Surg Today.	Late-onset chylothorax after blunt chest trauma at an interval of 20 years: report of a case.	Kamiyoshihara M, Ibe T, Takise A, Takeyoshi I.	第二外科
J Clin Oncol.	Pleural metastases from renal cell carcinoma 16 years after resection.	Kamiyoshihara M, Ibe T, Itou H, Takeyoshi I.	第二外科

小計 12 件

Gen Thorac Cardiovasc Surg.	A middle lobe tractotomy of the lung for a stab injury: report of a survival case.	Kamiyoshihara M, Ibe T, Takeyoshi I.	第二外科
高崎医学	肝疾患患者における最先端の外科治療 肝移植。	竹吉泉	第二外科
日本呼吸器外科学会雑誌	CT ガイド下経皮的肺針生検による空気塞栓に対して高圧酸素療法が奏効した 1 例。	中野哲宏, 清水公裕, 森下靖雄, 竹吉泉	第二外科
日本呼吸器外科学会雑誌	肺葉切除術後急性膿胸に対し胸腔内点滴大量持続洗浄法が奏効した 1 例。	中野哲宏, 清水公裕, 森下靖雄, 竹吉泉	第二外科
日本消化器外科学会雑誌	骨盤内臓全摘後 4 年間無再発の巨大直腸 gastrointestinal stromal tumor の 1 例。	須納瀬豊, 竹吉泉, 桜井信司, 森下靖雄	第二外科
J Neurosurg Spine.7: 610-614, 2007.	Cervical malalignment after laminoplasty: relationship to deep extensor musculature of the cervical spine and neurological outcome.	Iizuka H.	整形外科
Rheumatol Int. 28: 419-428, 2008	Effect of a modified S-form hip brace, WISH type, for patients with painful osteoarthritis of the hip: a role in daily walking as a hip muscle exercise.	Sato T.	整形外科
Cancer Res. 67: 8682-8689, 2007.	Regulation of phosphoglucose isomerase/autocrine motility factor activities by the poly (ADP-ribose) polymerase family-14.	Yanagawa T.	整形外科
日本腰痛学会雑誌 13 卷 1 号 Page150-154, 2007.	腸骨採骨部痛に関する調査	荒毅	整形外科
肩関節 31 卷 2 号 Page437-439, 2007.	原テストによる高校野球投手のメディカルチェック	大沢敏久	整形外科
肩関節 31 卷 2 号 Page361-364, 2007.	腱板断裂の理学所見による断裂形態の判別	山本敦史	整形外科
肩関節 31 卷 3 号 Page557-560, 2007.	腱板断裂の術前肩疼痛に対する VAS 評価の検討	小林勉	整形外科
肩関節 31 卷 2 号 Page291-294, 2007.	反復性肩関節脱臼・亜脱臼に対する治療法の比較 Modified Inferior Capsular Shift 法 vs. 鏡視下バンカート修復術	設楽仁	整形外科
Arch Ophthalmol	Loss of photoreceptor outer segment in acute zonal occult outer retinopathy	李丹傑	眼科

Retina	Tomographic features of branching vascular networks in polypoidal choroidal vasculopathy	佐藤拓	眼科
Am J Ophthalmol	Tomographic features of serous retinal detachment with multilobular dye pooling in acute Vogt-Koyanagi-Harada disease	山口由美子	眼科
J Infect Chemother 13; 235-254, 2007	Study of nasopharyngeal bacterial flora. Variations in nasopharyngeal bacterial flora in schoolchildren and adults when administered antimicrobial agents.	Furuya N , Morikawa A,	耳鼻咽喉科
HEAD NECK 29: 120-127, 2007	Relationships between regulatory T cells and CD8+ effector populations in patients with squamous cell carcinoma of the head and neck	Chikamatsu K , Sakakura K , Furuya N	耳鼻咽喉科
Oral Oncology 43, 662-669, 2007	Expression of thymidylate synthase and dihydropyrimidine dehydrogenase in adenoid cystic carcinoma of the head and neck: Correlation with clinical outcome	Chikamatsu K , Shino M , Sakakura K , Furuya N	耳鼻咽喉科
Gynecol Oncol.	Correlation between survivin expression and locoregional control in cervical squamous cell carcinomas treated with radiation therapy.	Suzuki Y	放射線科
J Jpn Soc Ther Radiol Oncol	Late Rectal Bleeding and Genitourinary Morbidity after High Dose Rate Brachytherapy combined with Hypofractionation External Beam Radiotherapy for Localized Prostate Cancer	Ebara T	放射線科
Anticancer Res.	Palliative reirradiation for in-field recurrence after definitive radiotherapy in patient with primary lung cancer.	Ebara T	放射線科
Radiotherapy and Oncology	A regional cooperative clinical study of radiotherapy for cervical cancer in east and south-east Asian countries	Nakano T	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Late rectal complications evaluated by computed tomography-based dose calculations in patients with cervical carcinoma undergoing high-dose-rate brachytherapy.	Noda S	放射線科
J Gastroenterol Hepatol	Clinical usefulness of CYFRA 21-1 for esophageal squamous cell carcinoma in radiation therapy.	Wakatsuki M,	放射線科
Acad Radiol.	Inverse correlation between tumor perfusion and glucose uptake in human head and neck tumors.	Hirasawa S.	核医学科
Acad Radiol.	Perfusion CT of breast carcinoma: Arterial perfusion of nonscirrhouus carcinoma was higher than that of scirrhouus carcinoma.	Hirasawa H.	核医学科
Annals of Nuclear Medicine.	Diagnosis of maxillofacial tumor with L-3-[18F]-fluoro- α -methyltyrosine (FMT) PET: a comparative study with FDG-PET.	Miyakubo M.	核医学科
Oncology Reports.	Early diagnosis of recurrent hepatocellular carcinoma with 18F-FDG PET after radiofrequency ablation therapy.	Paudyal B.	核医学科

Ann Nucl Med.	Clinicopathological presentation of varying 18F-FDG uptake and expression of glucose transporter 1 and hepatocellular carcinoma and cholangiocellular carcinoma.	Paudyal B.	核医学科
AJR.	Magnetite ingested as a nutritional supplement: unexpected source of MRI susceptibility artifact.	Taketomi-Takahashi A.	核医学科
Acad Radiol.	Body diffusion-weighted MR imaging using high b-value for malignant tumor screening: usefulness and necessity of referring to T2-weighted images and creating fusion images.	Tsushima Y.	核医学科
Angiology 2007 Aug-Sep;58(4):429-34	Combined use of autologous bone marrow transplantation and hyperbaric oxygen therapy for the patients with thromboangiitis obliterans.	齋藤 繁	麻酔科蘇生科
International Journal of Developmental Biology	Cadherin-6 is required for zebrafish nephrogenesis during early development.	Kubota F.,	歯科口腔外科
Annals of Nuclear Medicine	Diagnosis of maxillofacial tumor with L-3-[18F]-fluoro- α -methyltyrosine (FMT) PET:a comparative study with FDG-PET.	Miyakubo M.,	歯科口腔外科
Biochem Biophys Res Commun. 2008 Feb 22;366(4):963-8. Epub 2007 Dec 26.	S1P(2) receptors mediate inhibition of glioma cell migration through Rho signaling pathways independent of PTEN.	Malchinkhuu E, Sato K, Maehama T, Ishiuchi S, Yoshimoto Y,	脳神経外科
Stroke. 2008 Jan;39(1):205-12. Epub 2007 Nov 29.	Experimental model of lacunar infarction in the gyrencephalic brain of the miniature pig: neurological assessment and histological, immunohistochemical, and physiological evaluation of dynamic corticospinal tract deformation.	Tanaka Y, Imai H, Konno K, Takata K, Yoshimoto Y, Saito N.	脳神経外科
J Neurochem. 2007 Oct 11.	Critical role of ABCA1 transporter in sphingosine 1-phosphate release from astrocytes.	Sato K, Malchinkhuu E, Tosaka M, Yoshimoto Y,	脳神経外科
Biochem Biophys Res Commun. 2007 Aug 3;359(3):649-54. Epub 2007 May 29.	HDL-like lipoproteins in cerebrospinal fluid affect neural cell activity through lipoprotein-associated sphingosine 1-phosphate.	Sato K, Malchinkhuu E, Horiuchi Y, Tosaka M, Yoshimoto Y,	脳神経外科
Neuropathology. 2008 Feb 26.	Diversity of glial cell components in pilocytic astrocytoma.	Tanaka Y, Sasaki A, Ishiuchi S, Nakazato Y.	脳神経外科
Neuropathology. 2008 Feb 15.	Proliferation and cell death of human glioblastoma cells after carbon-ion beam exposure: Morphologic and morphometric analyses.	Oishi T, Sasaki A, Nakano T, Nakazato Y.	脳神経外科

Biochem Biophys Res Commun. 2008 Feb 22;366(4):963-8. Epub 2007 Dec 26.	S1P(2) receptors mediate inhibition of glioma cell migration through Rho signaling pathways independent of PTEN.	Malchinkhuu E, Sato K, Maehama T, Ishiuchi S, Yoshimoto Y,	脳神経外科
Front Biosci. 2008 Jan 1;13:2784-96.	GluR2 expressed by glial fibrillary acidic protein promoter decreases the number of neurons.	Tsuzuki K, Ishiuchi S.	脳神経外科
J Neurosci. 2007 Jul 25;27(30):7987-8001.	Ca2+-permeable AMPA receptors regulate growth of human glioblastoma via Akt activation.	Ishiuchi S, Yoshida Y, Nakazato Y, Ozawa S.	脳神経外科
Stereotact Funct Neurosurg. 2007 Jul;85(5):225-34. Epub 2007 May 25.	Effect of ventralis intermedius thalamotomy on the area in the sensorimotor cortex activated by passive hand movements: fMRI imaging study.	Miyagishima T, Takahashi A, Hirato M, Saito N, Yoshimoto Y.	脳神経外科
Neurol Res. 2007 Jul;29(5):485-9.	Vasorelaxing effect of the Rho-kinase inhibitor, Y-27632, in isolated canine basilar arteries.	Hashiba Y, Tosaka M, Shimizu T, Sasaki T.	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo). 2008 Feb;48(2):49-55; discussion 55-6.	Urgent stenting for patients with acute stroke due to atherosclerotic occlusive lesions of the cervical internal carotid artery.	Miyamoto N, Naito I, Iwai T, Shimaguchi H.	脳神経外科
Thromb Res	Effect of sodium selenite supplementation on the levels of Prostacyclin I ₂ and Thromboxane A ₂ in human.	Abdullah R, Murakami M	検査部
J Clin Endocrinol Metab	Thyroglobulin gene mutations producing defective intracellular transport of thyroglobulin are associated with increased thyroidal type 2 iodothyronine deiodinase activity.	Kanou Y, Murakami M	検査部
Nature Methods	Rapid SNP diagnostics using asymmetric isothermal amplification and a new mismatch-suppression technology.	Mitani Y, Murakami M	検査部
Circ J	Relationship between brachial arterial endothelial function and lumbar spine bone mineral density in postmenopausal women.	Sumino H, Murakami M	検査部
Thromb Res	Identification of inherited macrothrombocytopenias based on mean platelet volume among patients diagnosed with idiopathic thrombocytopenia..	Gohda F, Murakami M	検査部
臨床病理	血液培養と in situ ハイブリダイゼーション法との比較	高橋美紀 村上正巳	検査部
Acta Haematol. 117(4):238-241, 2007	Hodgkin lymphoma accompanied by aplastic anemia and polyclonal expansion of large granular lymphocytes.	Saitoh T, Karasawa M, Nojima Y, Murakami H.	輸血部

Ann Hematol. 2008 Jul;87(7) :585-6.	T cell large granular lymphocyte (LGL) leukemia associated with Behcet's disease: high expression of sFasL and IL-18 of CD8 LGL.	Saitoh T, Karasawa M, Nojima Y, Murakami H.	輸血部
APMIS 2007 Dec;115(12) :1426-31.	Primary cutaneous CD5+ marginal zone B-cell lymphoma resembling the plasma cell variant of Castleman's disease. Case report.	Tsukamoto N, Kojima M, Karasawa M, Murakami H,	輸血部
Intern Med 2007;46(5) :227-32	Doctor-Patient Communication: a comparison between telemedicine consultation and face-to-face consultation.	Liu.X	医療情報部
日本遠隔医療学会誌 2007;3(2)	メールによる保健指導の留意点と評価法	酒巻哲夫	医療情報部
Clin Immunol 2007;125 (2)	Hyperexpresion of FcgammaRI and Toll-like receptor 4 in the intestinal mast cells of Crohn's disease patients.	Kobayashi R	医療情報部
European Journal of Gastroenterology & Hepatology	Impedance signature of pharyngeal gaseous reflux.	河村修	光学医療診療部
Digestive Disease Sciences	Proton Pump Inhibitors Improve Acid-Related dyspepsia in Gastroesophageal Reflux Disease Patients.	草野元康	光学医療診療部
Digestive Disease Sciences	Oral Erythromycin Accelerates Impaired Gastrointestinal Motility After Endoscopic Mucosal Resection.	河村修	光学医療診療部
Neurogastroenterology and Motility	High-viscosity liquid meal accelerates gastric emptying.	下山康之	光学医療診療部
総合リハビリテーション 2007; 35: 805-808.	リハビリテーション病院における Cerebellar Stroke 患者の機能回復-FIM 認知項目改善に着目した検討一。	宗宮 真, 和田直樹, 清水 透, 白倉賢二	リハビリテーション部
Arch Phys med and rehabil, i 88, 1601-5, 2007	Clinical analysis of risk factors for falls in home-living stroke patients using functional evaluation tools.	Wada N, Sohmiya M, Okamoto K, Shirakura K.	リハビリテーション部
Rheumatol Int. 2008 Mar; 28(5) :419-28. Epub 2007 Sep 21.	Effect of a modified S-form hip brace WISH type, for patients with painful osteoarthritis of the hip: arole in daily walking as a hip muscle exercise.	Sato T., Yamaji T., Shirakura K., Watanabe H	リハビリテーション部

小計 12 件
計 183 件

- (注) 1 該当医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 石川 治
管理担当者氏名	総務課長：中島玉男 医療サービス課長：狩野源三

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録			
病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		各診療科 医療サービス課 (カルテ管理係)	一患者一ファイル方式により管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医療サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医療サービス課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービス課 薬剤部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療サービス課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療サービス課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療サービス課	
確規保則の第9条の2条及び第11条の1各号に掲げる体制	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療サービス課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療サービス課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療サービス課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療サービス課	

病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	保管場所		分類方法
		院内感染のための指針の策定状況	医療サービス課	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療サービス課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療サービス課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	医療サービス課	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	材料部 放射線部 医療サービス課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	材料部 放射線部	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	材料部 放射線部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者 氏名 閲覧担当者 氏名 閲覧の求めに応じる場所	病院長 石川 治 総務課長 中島 玉男 病院会議室
-------------------------------------	---------------------------------

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 1 件	
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯 科 医 師	延	0 件
	国	延	1 件
	地方公共団体	延	0 件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	79.0%	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算	A：紹介患者の数		15,057人
出	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		15,207人
根	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,172人
拠	D：初診の患者の数		24,578人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に 100 を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式13-2)

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (3名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (6名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任（ 3）名 兼任（ 4）名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医療安全管理室 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故発生時の即時対応 ・ インシデント・アクシデント報告書の即時調査、分析、管理 ・ 医療安全管理委員会、医療事故防止専門委員会、医療事故調査専門委員会、リスクマネージャー会議に関すること 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有)・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 当院における安全管理の基本的考え方：安全文化の育成 ・ 医療安全を推進するための委員会等の設置 ・ 職員に対する研修の基本方針 ・ 事故報告などの医療に関わる安全の確保を目的とした改善の方策に関する基本方針 ・ 事故発生時の対応に関する基本方針 ・ 情報の共有に関する基本方針（当該指針の閲覧に関する基本方針） ・ 患者相談への対応に関する基本方針 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療業務安全管理委員会：医療事故防止専門委員会からのインシデント報告書の分析結果等の報告を受け、分析結果や改善指摘事項等について協議するとともに、その改善事項等の決定及び各診療科等への改善命令等の決定を行う。 ・ 医療事故防止専門委員会：具体的なインシデント・アクシデント報告書の内容分析を行い、改善事項等について審議し、その結果を上部委員会へ報告するとともに、決定された改善事項についてやテーマを設けての病棟等巡回点検を行う。 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 8回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 19年度は全体研修として「感染対策講演会」（2回）、「医療事故防止安全管理研修会」、「診療録の質と安全管理講演会」、「児童虐待予防講演会」、「新CVC体制説明会」（5回）、「放射線安全講演会」、「医療事故防止安全管理研修会」、「救命救急講習会」を実施した。ほかに新入職者研修として前後期に「麻薬管理」、「輸液ポンプ、シリンジポンプについて」など各6テーマを実施した。ほかに、新採用職員・研修医のオリエンテーションで、安全や感染に関する講演を行っている。安全DVDの貸出も実施。 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無 ・ その他の改善の方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 各診療科、病棟等にリスクマネージャー 85名を配置。 ・ 安全DVD貸出。月間強化テーマを設け医療事故防止専門委員による巡視。 ・ 医療安全情報の閲覧確認簿の設置 	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院感染対策に関する基本的な考え方 ・ 感染対策委員会及び感染制御部 ・ 職員研修 ・ 病院感染発生時の対応 ・ 病院感染対策マニュアル ・ 患者への情報提供と説明 ・ その他の病院感染対策の方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策の実施及び指導 ・ 感染対策に関する必要事項の検討 ・ 感染症の情報収集、整理、解析及び対策 ・ 感染症の解析結果の迅速な情報提供 ・ 感染症の継続的観察及び対策実施後の評価 ・ 感染症に関する啓発、講習、教育 ・ 感染防止のためのガイドライン及びマニュアルの整備 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> ・ 新採用職員研修（オリエンテーション）「検査部と感染予防対策について」 ・ 全体研修 感染対策講演会 「感染症法の改正と感染対策」 ・ 全体研修 感染対策講演会 「事例から学ぶ感染制御」「感染制御の実践例」 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の感染対策委員会、感染制御部運営委員会合同委員会の開始前に、テーマを決めて委員による院内の視察を行い、評価、改善指導を行っている。 ・ 長期使用抗菌焼くの定期的調査を行っている。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 年度初め 新規採用者に対する医薬品安全使用のための講習 秋期 全職員に対する医薬品安全使用のための講習	
<ul style="list-style-type: none">③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 (有)・無)業務の主な内容： 院内で医薬品を取り扱うための手順書を平成19年4月に編集した。 各病棟の薬剤師が、実施状況を確認している。	
<ul style="list-style-type: none">④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無)その他の改善の方策の主な内容： 医薬品安全に関する情報の収集と院内への周知は薬剤部D Iセンターが担当し、院内広報誌「D I ニュース」で病院の全職員に伝えている。	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有) 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 25回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸液・シリンジポンプの取扱いについて ・ 人工呼吸器の取扱いについて ・ 装置に添付されているマニュアルの周知 	
<p>③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 ((有) 無) ・ 保守点検の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日の始業・終業時点検 ・ 定期的(1回/半年)な、メーカーによる点検 ・ 法令で定められている7品目及び輸液・シリンジポンプ、フットポンプ等の清掃、校正と消耗品の交換 	
<p>④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ((有) 無) ・ その他の改善の方策の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易的な取扱説明書を作成し、医療機器本体に取り付けている。 ・ M.Eが病棟に行き、輸液・シリンジポンプとフットポンプの動作確認等を実施 ・ 毎日の始業・終業点検 	